
「強度変調放射線治療におけるプラン品質に関する研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2016年1月1日から2022年12月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターでIMRT/VMATによる放射線治療を受けられた患者さんを対象とします。

2. 研究の目的

放射線治療における照射技術は、ハード面の精度やソフト面の処理能力性能の向上により革新的に進歩し、IMRTやVMATといった高精度放射線治療を提供することが可能になっていきます。IMRT/VMATは従来の三次元原体照射法(3D-CRT)と比べて線量集中性に優れており、標的への高線量投与とその周囲の正常臓器への線量低減を同時に実現する照射法として、前立腺や頭頸部領域を主たる対象として用いられています。近年は治療対象領域が拡大しつつあり、肺や脊椎などに対しても用いられるようになってきています。しかし、3D-CRTの順方向プランニングと比べ、IMRT/VMATでは逆方向プランニングにより線量分布の最適化計算が行われるために、立案者により得られる線量分布が変化する可能性があります。このため本研究では放射線治療計画装置にて立案された治療計画情報を後方視的に解析することにより治療計画の質的評価を行うことで、明確なプラン指標を用いた計画立案の補助やプランの質の均てん化に繋がると考えられます。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究では取得済みの画像情報、また画像情報をもとに立案された放射線治療情報(DICOM-RTファイル)を対象にしており匿名化を施した上でこれらの情報を用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である猪狩光紳が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

画像サーバーや放射線治療計画装置から保存されている情報を取得します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 猪狩 光紳（研究代表者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 猪狩 光紳（担当者氏名）

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4136（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：強度変調放射線治療におけるプラン品質に関する研究

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 猪狩 光紳